



視よ 冬すすでに過ぎ 雨もやみて はやさりぬ もろもろの花は地にあらわれ 鳥のさへづ
るとき すでに至り 班鳩の聲われらの地にきこゆ

—雅歌 第2章11~12節—

For, lo the winter is past, the rain is over and gone; The flowers appear on the earth; the time of the singing of birds is come, and the voice of the turtle is heard in our land;

—SOLOMON'S SONG CHAPTER2 11-12—

新 生

第 46 巻 号
新 生 会 広 報

剣と脚に槍と録に渡辺憲司

「武器を持って」と大声を上げ、堂々と戦争の時が迫って来ているようだ。この頃思い出すのは、一九二五年に制定され、多くの人を逮捕し、拷問・虐待を繰り返した治安維持法の犠牲者のことだ。
その中で思い出したのは浅見仙作のことです。
逮捕が自分の生まれた年であり、又留置が今の自分とほぼ同じ年齢であるからかもしれません。
彼が逮捕され、零下一六度の留置所で非戦を叫んだのは一九四四年七七歳の時でした。
彼は、一八六八年新潟の農家で生まれ、二四歳の時、北海道に渡り開拓農家となり、三五歳の時に受洗。三七歳で渡米。代理牧師を行っていましたが、教会員の日露戦争賛同姿勢に疑問を持ち四〇歳で帰国。
帰国後札幌地方を中心に農村伝道活動を行い、六四歳の時機関紙を創刊、戦争へ疑問を投げかけ、発禁処分にあいその後も非戦を貫き、四四年に懲役三年の実刑判決を受けたのです。

しかし大審院へ上告、翌四五年終戦直前に裁判長三宅正太郎のもと彼の思想が天皇支配を否定するものではないと、無罪判決を受けます。これは極めて稀な判決であり、(ペリベラリズムの原則が守られた)画期的なものであったと後世評価されています。
浅見仙作は内村鑑三の影響を受けた非戦論者であり、矢内原忠雄がもっとも敬愛した人物です。彼が繰り返した聖句は、
「主は国々の争いを裁き、多くの民に戒められる。彼らは剣を打ち直して鋤とし槍を打ち直して鎌とする。国は国に向かつて剣を上げずもはや戦うことを学ばない。ヤコブの家よ、主の光の中を歩もう。」という旧約聖書(イザヤ書二四・五)の一節です。
我々が戦後守って来た(戦争放棄)非戦の思想は何処へ行ったのだろうか。私の非戦への思いも揺らいでいる。浅見仙作の勇氣も、三宅正太郎の決断も持てそうにない。すがるような思いで祈るしかない。しかし、非戦の思いで育てられ、老いを迎える我々がその一徹さで連帯すれば国民は正気に戻るかもしれない。何か動くかもしれない。それが一筋の光明である。

渡辺憲司
一九四四年生まれ。
立教大学名誉教授。江戸文字研
究者。



ぬれた心

ぬれた若葉に朝日があたる

かがやき出ずる光彩よ

ぬれた苗床に種をまく

もえ出ずる生命よ

涙にぬれたまなこにのみ

自然が見える

人間が見える

本当の人生が見える

ぬれたる胸にいだかれて

か弱い若芽ものびてゆく

後藤静香著
「天よりの声」より



原 慶子

原発事故とコロナパンデミック

二〇二三年三月一日（土）「原発をなくす群馬の会」結成総会が開催されました。二〇一一年から今年は一二年となります。東日本大震災そして福島電子力発電所の爆発事故は一二年を経てもなお被災者や被爆者の生活に暗い影を落としています。

二〇〇一年の9・11アメリカ同時多発テロそして二〇一一年3・11、そして二〇二〇年コロナパンデミックと一〇年ごとにつづった世界中をまき込んだ地球といのちを脅かす大事件の背景には、科学技術の極度な進展と経済格差を極端に広げた新自由（強欲資本）主義があります。原発事故とコロナパンデミックを比較して見ましよう。原発事故の甚大な悪影響は放射能拡散による被曝。コロナパンデミックはコロナウイルス（COVID19）感染による体調不良。共通点は放射能もウイルスも「見えない、臭わない」という点では同じです。被曝症状がでたり、感染症状がでて初めて共に命を脅かす大変恐いものだと分る訳です。

広島・長崎の原子爆弾では多くの

命が奪われました。チェルノブイリや福島原発の爆発事故でもたくさんの命が奪われました。そして多くの方々がその後遺症に苦しんでいます。コロナ感染症にも多くの方々が感染し、亡くなられた方も沢山いらっしゃいます。新型コロナウイルスでは、すぐにワクチンが発売されましたがワクチン接種後に亡くなられた方々も含めれば死者の数はもつと増えることでしょう。原爆・原発は核兵器とは切っても切り離せない関係にあります。それらの元になるのは天然原子ウランと人工原子プルトニウムです。現在、アメリカを中心に世界の有力国家は核を保有しています。人々は核の恐怖の内に生活を営んでいます。コロナウイルスがなぜ突然にあつたという間に世界中に蔓延したのか？そしてワクチンのことも真実は分かりません。しかし放射能と同様に人々に恐怖心を植えつけ、人々の行動制限をし、人間関係を分断したことは確かです。

「権力者によって仕組まれたこの恐怖心におびえることなく、一人の独立した自由な人間として、人間らしく生きるとは？」が今一人一人に問われているのです。生き生きとした人間社会の創造は、一人一人の人間力にかかっているのです。

タモリが岸田文雄政権の「新しい資本主義」をもじって、二〇二三年は「新しい戦前」になると述べた。状況はその通りに動いている。防衛費倍増が優先される一方で、高齢者施設でクラスターの発生が頻発し、多くの命が奪われても無視されている。まるで戦時中であるかのようにだ。

厚労省のデータを見てみよう。

新型コロナウイルスの流行が始まって、度々緊急事態宣言が出され、飲食店バッシングが攻撃されたが、二〇二三年四月九日段階でもクラスター(集団感染)発生件数五二三六〇件のうち、飲食店は一四八〇件(二・八%)と少なく、高齢者施設が二一五九八件(四一・二%)と大きな比重を占めている。死者の多くは七〇歳以上の高齢者だ。非科学的なコロナ対策によって介護施設は高いリスクにさらされている。ところが、一部自治体を除いて、高齢者への定期検査もなく、いざクラスターが発生すると、入院隔離ができず、高齢者施設内部に放置されるという悲惨な事態があとこちで起きた。

人手不足が問題になっている介護施設(在宅介護も含め)は、新型コロナウイルスで感染リスクにさらされてきた。ところが、抗原検査キットでもよい、頻繁に定期検査を行い、感染者が出た場合には軽症段階で、リモートで医師のアドバイスを受けたうえでコロナ医薬品(軽症用の抗ウ

イルス剤)を処方すれば、クラスターは未然に防げるはずである。ところが、厚労省は、コロナ病床を持つコロナ指定病院しか軽症用抗ウイルス剤を置いていない。コロナ指定病院は概ね中等症から重症の患者しか扱っておらず、抗ウイルス剤はほとんど使われないままなのだ。

しかも介護従事者の高齢化と賃金の低さにも十分な対策がなされていない。本来社会福祉予算を増やさなければならぬが、二〇二三年度予算では防衛費倍増がそれを圧迫して

論壇

「新しい戦前」を止めよ

金子 勝

いる。

はじめに防衛費はNATO並みのGDP比二%という数字がありきで、中身を問われないまま四三兆円という金額が一人歩きしている。中期防衛力整備計画の五年分の対象経費二五・九兆円から見ると、四三兆円から約一七兆円も不足することになる。

岸田政権は防衛力強化資金四・六兆円、予備費を余らせる決算剰余金で三・五兆円程度、歳出改革で三兆円強の計一一・一兆円、建設国債

を一兆六〇〇億円。残る四兆円強を増税(復興税源の一部流用)で調達する。

これらの財源はもともと別の目的のものが多く、まず予備費は災害のためものだが、東日本大震災の際の予備費は当初予算に補正予算で八〇〇億円を上積みしても約二兆円だった。これに対して、二二年度の予備費は当初予算と第一次、第二次補正予算を加えて、総額で過去最大の一一兆七六〇億円になっている。しかも決算剰余金をひねり出すため

に二三年度の予算でも五兆円の予備費を決めている。予備費のかなりの部分は基金の形になっており、予備費は国会のチェックが効かず、政権党と官庁のお財布代わりに使っている。実際、日本経済新聞の調査によれば、予備費の九割が用途不明であった。

防衛力強化資金四・六兆円は、外国為替資金特別会計から三・一兆円程度、財政投融资特別会計から〇・六兆円程度、新型コロナウイルス対策費の不用分〇・四兆円程度を国庫

返納分、東京・大手町の大型複合ビル「大手町プレイス」の政府保有分売却で〇・四兆円程度で構成されており、これらも本来防衛費のための財源ではない。

その後、岸田政権は、人口減少がひどいのに防衛費倍増なのかという批判が起きて、総額八兆円もの措置を含めた「異次元の少子化対策」を打ち出した。財源はなく、そこで社会保険料への上乗せる案が浮上している。だが、医療・介護などの社会保険料は相互扶助の仕組みであって、出産費用などを除いて少子化対策は目的にそぐわない。増税への反発から取りやすい所から取る安直な政策だと言わざるを得ない。

おまけに、すでに二〇二二年一〇月以降、後期高齢者のうち一定以上の所得(被保険者が世帯に一人の場合二〇〇万円以上、世帯に二人以上の場合合計三二〇万円以上)がある者は、医療費の自己負担が一割から二割に引き上げられたばかりだ。このうえ、年金所得に依存している高齢者に負担を増やすことはできない。社会保険料への負担を増せば、ますます低所得の高齢者は医療や介護制度を受けられなくなっていくだろう。

防衛費を減らし、社会保障への政府支出を増加させなければ、社会自体を守ることはできないのだ。



新型コロナウイルスによる臨時特集⑬

コロナパンデミックにより 人々と社会はどう変わってしまったのか？

原 慶子

突然の対策変更

コロナパンデミックも、二〇二三年に入って四年目となった。すっかり定着したのは、マスク着用、検温、手のアルコール消毒などである。一方ワクチン接種も五回目、六回目となった。しかしワクチンをしててもコロナ感染症を発病したり、ワクチンの副作用で体調を崩す、重症から軽症へ患者も少なからず出ていることや、ワクチン接種後の突然死やくも膜下出血など起こっているという現実に対し不安を抱く人も増えている。ゆえにワクチンの不信者も増え、接種しない人も増加している。そんな矢先、岸田首相はインフルエンザと同様に第五類に変更し、コロナ感染症を防ぐという名目の行動規制はほぼ撤廃する。五月初めからと出している。戸惑っているのは、コロナ感染症とワクチンという行政対策に準じてきた多くの団体や個人である。新生会においても、緊急時対策委員会を設置し、コロナ対策を講じてきたが、突然の政府表明に戸惑っている。

わたし自身は、COVID19がほぼ同時期に世界中に蔓延し、その後、

時を経ずしてコロナウイルスワクチンの接種が行政指導になった時からパンデミックに対しても、ワクチンに対しても「仕組まれているのではないのか、どこで誰が仕組んでいるのか」という疑念が頭から去らないのであった。故にコロナ関連、ウイルスの勉強を地球の始まりに遡って熱心に行った。勉強をすればするほど国単位の対策は詐欺ではないか、不信は強まる一方だった。わたしはワクチン接種に対しても、社会的判断を優先するか、自分の直観を尊重するか、考えた結果、後者を選んだ。そして行政指導よりも自分の判断でこの三年間を過ごしてきた。

気になつてゐるのは、三年に亘る国家的な恐怖煽動(the Fearmongering)と、私生活に及ぶ行動規制によって萎縮した人々の心理と社会動向は、一体どうなるのだろうか、これは大問題である。

何としてでも、人々の生きる意欲と社会活動への積極性(前向きな姿勢)は取り戻さなければならぬ。強い強い覚悟で、わたしは今回の論考に取り組んでいる。以下はインターネットを通して知りえた情報である。賛同するがゆえに掲載することにした。

I Joseph Mercola, "Why BVA.5 Is

the King of Coronavirus Variants" [July 23, 2022] (ジョセフ・マーコーラ、なぜBVA・5はコロナウイルス変異種の王なのか(二〇二二年七月二三日)より。(抜粋))

(1) 現在、我々が直面している問題は、これらの新変異種が全て自然免疫と「新型コロナウイルス感染症」向け注射で作られるとする抗体の両方、即ち自然的防御と人為的防御の両方、を突破して感染の繰り返しを可能にしているらしいということである。

(2) 「BA・5やBA・2・75などの新たな変異種は、全て自然免疫を含む我々の免疫防御を回避する仕方を開発しており、こうした質の悪い、そして多分に人為的な状況は、今や煽動家らに新たな手口を提供している。」

(3) 驚くべきは、世の政府が、流行り風邪の症状をとらえて、経済、子供たちの教育、精神衛生、更には民主主義の在り方そのものを破壊しようとしていることである。

(4) つまり、現時点では、パンデミックは、社会規範、医療、金融、交通、食料などの「大再編成」を正當化する主要な根拠の一つであり続けるようである。この「トロイの木馬」的正当化をきつぱりと一掃するには、世界中の人々が「新型コロナウイルス感染症」を怖がらなくなるしかない。私(ジョゼフ・マーコーラ)は判断している。

II 「shortshort-news Jan 14」より。

(1) 衝撃・情報公開請求文書によりコ

ロナパンデミックはオバマ政権期からの国防総省の作戦であったことが明らかに。

(2) FDA (Food and Drug Administration) アメリカ食品医薬品局のコロナワクチンは、ロットごとに毒性のパラッキがある。ものによっては千倍もの差がある。

(3) コロナワクチンは医薬品ではなく、試作品(対策品)であり、適性製造規範を遵守していない。国家安全保障会議が2013年、オバマ政権時「パンデミックエンタープライズ(PENC)」を組織化(各省から選ばれた十人)し、陰謀団が結成され、密かに計画が進められた。

(4) ワクチン製造は、国防総省の指示により、製薬会社と主流メディアが結託し、販売促進を行った。

(5) 国民には公衆衛生上の緊急事態のように思わせたが、実際(真実)は、コロナパンデミックは戦争であり、軍事活動として、トランプもバイデンも把握していた。

(6) これらの情報は公開されたほんの一部である。米国証券取引委員会(SEC)からも情報公開されているという。

コロナワクチンは、遺伝子RNAで、人間のDNA遺伝子の改造が意図されているようだが、この三年間で改造されてしまったのは、人間性の精神構造ではなからうか？ 欺かれていた沢山の人が本来の自分の自由な魂を取り戻し、生き生きとクリエイティブに生きていくことを切に望むものである。

改修工事が完了しました

新生会診療所は、本年六月で竣工三〇周年の節目を迎えます。昨年より大規模な改修工事を行い、この度完工いたしました。生まれ変わった新生会診療所と共に、スタッフ一同新たな気持ちで努めてまいります。

施工前 ↓ 施工後



春の墓参会

去る三月二二日(水)に高崎市八幡霊園内にあります新生会霊廟にて「春の墓参会」が行われました。

今回も昨年の秋の墓参会同様、新型コロナウイルス感染症対策により、法人内の居住者と職員のみでの開催になりました。

当日は天候にも恵まれ、新生会で老年期を過ごされお亡くなりになられた方、八幡霊園に納骨されていらっしゃる方を偲び、ご冥福をお祈りいたしました。

無事墓参会が行われましたことをご報告いたします。



八幡霊園にて

新任職員研修会

二〇二三年度「新任職員研修会」が三月二八日(火)～三月三〇日(木)の三日間で開催されました。

今年度は四月一日就任の方が一〇名、途中就任の方が七名の計一七名が参加しました。新生会の新任職員研修には芸術福祉論、新生会の歴史と理念・展望、介護保険、高齢者の心理とケア、高齢者の医学、グループワーク等、居住者に安心で快適な生活を提供する上で大切なことを学ぶプログラムが充実しています。

また座学だけでなく、実際の現場で働くイメージを膨らませるために、施設の見学や、各施設にて



グループワークにて

分かれてのワークを行っています。ワークを通して参加者からは、ケアは一人では完成せずスタッフ同士のチームワークが大切ということ、居住者お一人お一人の歩まれてきた人生や意思を尊重し、丁寧に接することが必要だと感じた等の声が聞かれました。

研修の最終日、最適なケアを提供するためには、提供するスタッフの健康が大切ということで、腰痛を予防するための体操のレクチャーが新生会診療所にて行われました。

居住者にとっても職員にとっても居心地のよい環境作りを新任職員含め皆で協力して行っていきたいと感じられる三日間の研修となりました。



腰痛予防体操

公開教養講座

講師 清水秀規 先生

北イリノイ大学准教授

去る三月一六

日、公開教養講座

が開催されまし

た。清水先生は日



本文化が日本人の子育て、学校教育、パロンナリティー、文化的体験（文化現象学）、自然観に与える影響を研究していらっしやいます。地元榛名町のお生まれで、新島学園を卒業後に英会話を学び渡米。カリフォルニア州立大学フルトン校にて心理学を専攻。後ハーバード大学で心理人類学を学ばれました。一九九六年に卒業、同年より北イリノイ大学で教鞭をとられています。清水先生のお母様が新生会の協力医療機関である榛名荘病院の医師でいらっしやったご縁もあり、今回の教養講座の実現に至りました。

演題は「表と裏」「はじめ」「素直」「甘え」など、日本文化を軸にした子育てと教育の柔軟性、多様性と創造性について」。

西洋・アメリカの理性主義、個人主義、物質経済主義の限界と日本の伝統心理に隠された叡智の国際社会

での可能性について幼児教育、文化と数学教育、文化と自己の視点から実際に先生が行ってきた研究の映像資料を用いてわかりやすくご講演下さいました。

以下、講演・資料の内容を紹介させていただきます。

日本で生活している人が知らず知らずにやっていることの中に世界から見ると素晴らしいものがちりばめられています。その一つに古来からの「叡智」（深く物事の道理に通じる知恵）があります。私は四〇年間アメリカにいますが、日本の人がそれに気付いていないのはもったいないことで気づいてほしいということが一番言いたいことです。

アメリカと日本ではまず物事における概念の違いがあります。

アメリカは「Zero-Sum Game」（負ける人がいないと勝てないやり方）、また「Logic of Linear Expansion」（競争して勝利して一直線的な拡大・蓄積を増やしていくやり方）

日本は「Perfect-Sum Wisdom」（皆が勝てるようにする知恵）、また「Logic of Exchange through Compassion/Intuition-Based Wealth」（思いやりと感性を循環させてひとの心とつながりを創造していく）」



具体的な映像で理解を深める

一九八〇年代の研究で典型的な日常を三つの国（アメリカ・中国・日本）で録画して比較しました。自分の文化の中にあると自分がいかに文化的な行動をしているかがわからなからです。

日本人は子ども大人にかかわらず二面性、内と外、本音と建前の違いがわかっていて、これをけじめと言いつつ、親しき中にも礼儀あり、かわい子には旅をさせよ」ということわざに例えられます。

日本の社会で大人になることは、子どもらしい面と社会に適応していくための建前とか社会に順応する両面を持つていなければいけないということです。社会性が自然に身につく理由が幼児教育、数学教育の現場に見られます。

日本の幼児教育では上の子が下の子の面倒を見る、能力で分けられることなくすべての子が仲間に入れてもらえる、そういう教育が当たり前になり根付いています。

数学教育においても日本の先生は答えを教えるのではなく、問題を提示してできるだけ多くの回答方法を考えさせます。そしてよく考える時間を与えます。より深く考えるだけでなく皆で考えて答えを出すということもさせます。それには幼児期に培われる社会性がないとできません。

また日本人に自己を問うと中心が自分の中にあるのではなく、自分の置かれている環境に関連した答えが返ってきます。これも社会という場の認識が自然とできているということなのです。

世界中には素晴らしい文化が沢山あります。いろいろお話しましたが、他の文化と比較することで日本の叡智を再認識して頂けたら幸いです。

清水先生、貴重なご講演をありがとうございました。コロナ禍にあつておおよそ四年ぶりの開催となった教養講座。多くの職員、居住者、またご縁あった方々が集う機会が与えられ、改めて良き日本の文化を学ぶ機会となりました。

ホームアマガルト

介護付有料老人ホーム
新生の園

梅 うめ ウメ

花の蕾も膨らみを増し、春の息吹が近づいてきました。ここ榛名は梅の里、三月に入り、日毎暖かい日が増えてくると、いつきに梅の開花です。

毎週行っているグループ散歩では、皆さん季節の植物に敏感。「ほら、あそこの木」「ここも咲き出した。」「ここはちよつと遅いわね。」「あれは黄梅かしら、こちらは紅梅ね」と春の芽吹きを感じています。梅だけでなく、椿や水仙、菜の花、ダイコンの花と多種の花々も彩りはじめ、皆さんの目を楽しませてくれます。夢中になりすぎて足元が留守になるのが少々心配ですが、桜の開花も



梅の香も一層

待ち遠しい、散歩日和の素敵な時期です。



桜も綺麗な坂

月二回実施している買い物ツアーは皆さんに人気で、参加者は一〇名以上、車二台による、ちよつとしたお出かけとなっています。いつものように食品、衣類、雑貨とそれぞれのお店で面白い物をされた帰路ですが、この時期のお約束で、今回は、榛名の梅林を巡ります。この時は、まだ、五分咲きといったところですが、車中で眺めつつ、見晴台で一望。ちよつとした観梅ツアーとなりました。(中澤一夫)



展望台にて

健康型有料老人ホーム

マリヤ館

初詣

令和五年の初詣は、榛名神社に行ってみました。

榛名神社の主祭神として、火の神ほむすびのかみ「火産靈神」・土の神はにやまひめのかみ「壇山姫神」を祀り、古くから鎮火、開運、五穀豊穰、商売繁盛のご利益があると言われています。

近年では関東屈指のパワースポットとして多くの参拝客で賑わっています。

創建は、用明天皇元年(西暦五八六年)、仏教伝来が西暦五三八年ですから、仏教伝来からわずか五〇年で創建されたことに歴史を感じます。

境内には、武田信玄が先勝祈願をした「矢立スギ」があり、長野業政・真田昌幸・信幸・上杉・北条と多くの戦国武将からも尊崇されていました。

江戸時代に入ると、徳川家康・天海僧正・井伊直正と、寺領を認められ、榛名講は関東甲信越に広まってきました。

梅香ハイツでは、一月一九日に、一〇名の参加者とともに初詣をしてまいりました。当日は天気も良く、心配されていた雪もなく、無事に参

拝することが出来ました。

本殿が修復工事中でしたが、御姿岩をはじめとする巨岩・奇石や、滝、建造物は、息をのむほどでした。

さて、お出かけした時の一つの楽しみ、美味しいものを食べるのがあります。今回は平日の朝ということもありまして、開店しているお店が少なかったのですが、初詣後の冷えた体を、お汁粉・甘酒で温めることが出来ました。

日本の四季・季節行事を大事にし、皆様に楽しんでいただける行事を今後も企画していきたいと思えます。(原孝洋)



榛名神社随神門前にて

介護付有料老人ホーム
穂和の園・桜の園

節分 豆まき

厳しい寒さが残るものの、暦の上では春を迎えました。そんな中、穂和の園・桜の園にも節分の季節がやってきました。

節分の豆まきは、季節の変わり目に起こりがちな病気や災害を鬼に見立て、それを追い払う儀式として行われます。豆は、一説によると魔を滅ぼすという意味の「魔滅」に由来するそうです。

二月三日、職員が赤鬼、青鬼、福娘に扮して各フロアを回りました。



鬼は～外!!

普段と姿が違うため、「この職員は誰だい？」と驚く方も。いつもの職員だと気づくと、鬼たちや福娘を歓迎してくださりました。歓迎ムー

ドを振り払い、職員の方「皆さん、豆を投げてください！」の声と同時に思いつきり豆を投げつけます。一方、遠慮して優しく投げてくださいる方もいて三者三様でした。いずれにせよ厄を追い払う気持ちは変わりませぬ。鬼も福娘も全力で臨みます。各フロアとても賑やかな豆まきとなりました。フロアに出てこれられない方の居室もすべて周り、目的達成。最後は仲良く記念撮影をして今年の節分も無事に終了となりました。



仲良くパシャリ♪

後日「痛くなかった？大丈夫だった？」と心配してくださる優しい方々ばかりでした。

皆様が一年間穏やかに健康で過ごせますように。来年はどんな鬼が来るか楽しみです。（大腰満里奈）

軽費老人ホーム
バルナバ館

お菓子の会

バルナバ館では、月に一度行う音楽鑑賞会で参加された方に和菓子を配りしています。「和菓子だけいただきたいわ」という居住者からの声をきっかけに、色々な和菓子屋さんのお菓子を皆さんと楽しめたい。という思いからお菓子の会を始めました。今回は、この時期ならではの《いちご大福》です。イチゴの果実がお餅と白あんに包まれ、見た目もかわいく和菓子好きにはたまらない一品。ご自分の分を注文される方、「お友達の方も」と嬉しそうに注文される方もいらっしゃいました。ちょうどこの日は、二月十四日バレンタインデーと重なったためチョコレートも付けてのお渡しとなりました。



甘いもの、大好き♡

た。和洋菓子を食べたくてもお菓子だけのお出かけはなかなかできません。このお菓子の会で様々なお店の和洋菓子を味わっていただきたいと思っています。

ひな祭り

二月中旬、バルナバ館談話室にひな人形を飾りました。目立つ場所ではないため、毎年飾っていますが、気付いていない居住者の方もいらっしゃると思います。先日、「今年も飾ってくださいたのね」と、声をかけてくださった方がいらっしゃいました。平安時代から続く、ひなまつり。子供の頃から慣れ親しんだ行事のひとつです。年齢性別関係なく、皆が健康に幸せに過ごせますようにと願いました。（一場寿子）



バルナバ館伝統のひな人形

軽費老人ホームA型

榛名春光園

出前講座

春光園では開園六〇周年を迎え、様々な記念行事を行いました。八〇名の居住者全ての方に喜んでいただきたいとの思いで開催して来たこのイベントも、今回が第七弾目にしてファイナルとなりました。

今回の行事は、居住者の皆さんがお気軽に参加できる勉強会です。高崎市市民福祉課の飯塚様にお越しいただき開催させていただきました。テーマは「介護予防について〜いつまでも元気で長生きするために〜」です。健康寿命を延ばすことを目的としたフレイル（虚弱）予防について学びました。講座の合間には、筋トレや頭の体操の時間もあり参加者は終始興味津々で、楽しみながら参加することが出来ました。（長坂直哉）



多くの気付きと学びがありました！

春光園新喜劇

戦争や災害等の暗いニュースが多い中、華やかな一年になる事を願いつつ今年も節分の日が訪れました。今年の鬼退治は一味違い、脚本があり細かくストーリーが展開されます。ダイナミックな音源も場を盛り上げます。主役の福女は「スーパー福女」と題して春光園のパリピ（盛り上げ役）の唐澤喜代子様へ依頼。鬼は保全係の上野さんへラブコール。パワフルで怖い鬼が脇を固めます。

唐沢様は数日前より全てご自身で衣装を用意した格好はまるで月光仮面の様。頭に付けた風車は風が吹くたびにグルグルと風を切っています。そして勇ましく最強の鬼を退治してくださいました。おかげで春光園の平和は守られ華やかな春が迎えられそうです。皆で大笑いして賑やかな節分となりました。（井上章子）



スーパー福女 & 最強の鬼

養護老人ホーム

恵 泉 園

恵泉追想記

穏やかな日差しにいつしか春の訪れを感じるこの頃です。日増しに暖かくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。この時期と言えば、出会いと別れ。そして新年を迎えるにあたり、昨年度を振り返る時期です。

いつしか恵泉園では恒例になった一年を振り返るスライドショー。今年とは違うことをしようかと思いましたが、居住者の皆様から反感を買ってしまった。それほどまでに楽しみにしていたので今年もスライドショーを作らせていただきました。試行錯誤して作り上げたので上映が上手くいくか不安でしたが、思



見つめる先に



記憶をたどる

いのほか皆様反応が良く、時に談笑しながら、時に自分が映った時は恥ずかしがりながら楽しまれていました。

今年度もコロナ禍で思うように動くことが出来ませんでした。スライドショーの写真もお食事をしてるところや園での写真が大半を占めていて、外出行事の少なさを改めて実感しました。それでもこうして楽しく一年を振り返ることが出来るのは、職員一人ひとりの協力や居住者の皆様の理解があったからこそだと思います。

来年度はどんな年になるのでしょうか。一つ言えるのは、どんなことがあっても恵泉園なら乗り越えられるということ。社会情勢という荒波に揺られながら、恵泉という大舟はまだ見ぬ大海に漕ぎ出していきます。（新井溪可）

特別養護老人ホーム
棟名憩の園

園芸くらぶ

今回は、春まき絹サヤエンドウのことを書きたいと思います。いつもはプランターで育てることが多いのですが、今年は居室前ベランダの花壇での栽培です。植え付けるのはMさん。車椅子から立ち上がって一生懸命に次々と行って、その手つきはさすが経験がうかがえます。「おおか乾いているから、水が必要だ」とじょうろで丁寧にも水やりを行いました。収穫したら茹でてサラダにして食べたいそうです。「私にも取ってちょうだいね！」と近くの職員からも声が掛かります。一〇日後、Mさん自らベランダに出ているらっしゃいました。「こないだと比べて、なから大きくなったよ」と、にこにこして教えてくれました。「桜が咲いたね」と「畑」の前で記念撮影。こちらにも笑顔をもらおうと時でした。



収穫が楽しみ！

(荻野育子)

久しぶりの外食

新型コロナウイルス感染者数の減少に伴い、久しぶりに、入居者の方々と萬年屋さんに出掛けてきました。

皆さん席に着かれ、和気藹々の中で、メニューが決まりお食事となりました。運ばれてきたお膳は、ボリウム満点お寿司中心のセットメニューでした。ムムム、この量では、半分も召し上がれないのでは、と心配してしまいました。しかし、歓談されながらのお食事は、終始笑顔で、「トロがおいしいわね」「こっちも油がのっついておいしいわよ」と楽しそうにお食事を召し上がり、いつの間にか、完食されていました。その様子を見ていると、何の制限もなく、自由に出掛けられる事の素晴らしさを感じる思いでした。



ハイチーズ！

(清水秀孝)

特別養護老人ホーム
誠の園

成長と進化の先に

昨年のサッカーW杯の三苦選手の一冊、今年のWBCの大谷選手の二刀流、両者ともに最後まであきらめないことが勝利をもたらした感動を生んだ。その結果、日本中に勇気と感動がもたらされたのは記憶に新しい。そんな景気の良い話の中、誠の園ケアサービス課に二名の大型新人補強が行われた。

「松本洋也さん」高身長のイケメンで、決め台詞は『まあ』。話しかけられても面白い言葉は返さない。「高橋凜人さん」落ち着いた雰囲気の中にも男らしさを感じるイケメンは、ツンデレのザ・東北魂。独特のクセのある二人は元誠の園



孫のような親しみやすさ

の実習生。長く厳しい実習の末、アルバイトを経て『就職します』と、新生会の門戸を叩いてやってきた。名門高崎健康福祉大学を主席のような顔で卒業した二人は、当たり前のように社会福祉士・介護福祉士の資格を持ってやってきた。先輩たちの『おめでとー』の言葉に返す言葉はもちろん、『まあ』。

そんな二人はもちろん居住者からの評判も良く、先輩からも好かれている。実習から叩き込まれた新生会スピリットで次世代のエース候補であることは間違いないが、今の二人があるのも実習からお世話になった居住者、先輩たちが居たからこそ。職員になっても初心を忘れず、最後まであきらめないで誠の園を盛り上げていってほしいと「まあ」願います。



静かな人当たりの心地よさ

(小野沢剛昌)

特別養護老人ホーム
エンジェルホーム

夕食後のワックスがけ
とある夕方のエンジェルホーム。
ホームの床をピカピカに磨き上げた
いと、熱い思いを秘めた有志八名が
集結しました。

まずは、おいしいおいしいお弁当
で栄養補給。園長が用意してくれた
高カロリーでボリューム満点のお弁
当で、私たちの心も体も満たされま
した。

お腹パンパンで、はちきれそうに
なりながら、いよいよワックスがけ
の始まりです。夕食後もまだ起きて
いる居住者に見守られながら、デイ
ルーム、ステーション、廊下の順番
で、椅子やテーブルをどかしながら、
まずは掃除機をかけ、ていねいに
モップや雑巾で床を拭きます。



いい汗かきました!

床の汚れを落としていくのはけつ
こうな重労働ですが、みんなですれ
ば楽しくあつという間です。床を拭
いた後は、いよいよワックスをかけ
ます。その後は、二〇分ほど待つて
ワックスが乾いたことを確認し、動
かした物を元の場所に戻します。過
去には、五名ほどでこの作業を行い、
もう二度としたくないと思ったこと
もありましたが、今回は大人数が集
まり、抜群のチームワークのおかげ
で、二時間ほどですべての作業を終
え、八時過ぎには解散となりました。



心ひとつにワンハート

HALCC自然学校

特別企画&お出かけ自然体験

二月一七日と二月二〇日、三年ぶ
りに冬季恒例の特別企画をジョージ
が丘内のクラブ集会室と福祉文化
ホールで開催し、四三名が参加され
ました。お隣の倉渕町で農業や自然
観察をしている非営利活動法人アグ
レコの丹羽牧人さんによる「生き物
たちのことば・コミュニケーション
」と題して野鳥は鳴き声の違いで
会話をしていることや、植物も根と
共生している菌を通じて情報を共有
している等最新の研究でわかってき
たことを映像を交えてお話を聞きま
した。



3年ぶりの屋内自然体験

翌三月一〇日、三月一七日はお出
かけ自然体験で観梅をテーマに箕郷
梅林と榛名山南麓の旅に二日間合計
で三七名が参加され久しぶりの昼食
付企画を実施しました。コロナ禍で

は、バスを利用してのお出かけは二
時間程の短時間外出でしたが、今回
より午前中に出発し、昼食後、午後
も自然観察をして帰着する、以前の
スタイルに近い企画を試みました。

二月から暖かい日が続き、開花が
一週間程度早く一〇日の班の時は満
開でした。箕郷梅林では、箕郷会場
から善地会場へ約一時間程度散策を
しました。昼食は伊香保水沢うどん
大澤屋第二店舗さんを予約、午後は
榛東村にある地球屋で吊るし雛や買
い物を楽しみ帰り途中に一〇日は、
伊香保森林公園展望台に立ち寄りス
ギ花粉で霞む日光や谷川方面の景色
を望み、一七日は、はにわの里を散
策しながら縄文文化に思いを馳せる
等、久しぶりのお出かけ企画でリラッ
クスされたようです。これからは、
お出かけ自然体験が存分に楽しめる
日が早く来ますように。(稲垣仁)



ゆっくりと箕郷梅林を散策

居宅介護支援事業所
フィリアについて

微力ながら

居宅介護支援事業所とは、介護保険法に基づき、厚生労働省で定められた実務経験を持ち、県の試験と研修を修了した介護の専門家であるケアマネジャーが常駐している事業所の事です。

居宅介護支援事業所フィリアについては、特別養護老人ホーム憩の園の事務室内に事業所を構えています。

令和五年二月現在、ケアマネジャーは二人体制（常勤管理者兼業務、嘱託一名）で、介護五五名、予防二一名、認定調査二二件を受託しています。介護や予防の方々の支援をして下さるサービス提供事業者様は、おおよそ三〇件になりますので、一人のケアマネジャーが、毎月六〇人以上の方々と連絡調整行う為に日々動き回り、事務所内に戻ると、連絡調整した内容を記録する為、寡黙にパソコンと向き合っているといたった現状です。二〇〇〇年四月に介護保険制度が始まり、その時々々の社会情勢に応じて、これまでに五回の改正が行われてきましたが、今回の改正では、介護保険を利用されるご本人様の実情だけでなく、周囲の支援者に対するサポート内容も、より

充実させる必要があると言われていきますので、今後ますます多忙になる事が想定されます。

毎月のモニタリングでは、担当させて頂いていただいている高齢者の方から、大変貴重なお話を伺う事がよくあります。先日、ある高齢者の方から、「私は、今が一番幸せ。だって、子供の頃は、隣の家に赤紙が届いて、戦場へ召集されていく人の背中を見て不安な日々の中で育つたのよ、今ではロケットに乗って宇宙に行く人を見られているのよ、世界を見れば、普通の暮らしができない人が沢山いるけど、私は何十年も普通に暮らしているなんて、なんて幸せだろうと思うわ」とのお話を伺い、平和が普通ではない生活を送る人も居る時代。日本では普通に暮らして、普通に仕事が出来ることがたみ、改めて感じました。

ロケットは、宇宙に向けて飛ばそうよ。



桜咲き、
祖先に感謝の
河津の地。

【川柳見習い 長壁くみ子】



ロケットは、宇宙に向けて飛ばそうよ。

こがげ

新 生 会 人 紹 介

- ① 出身地
- ② 職種
- ③ 趣味・特技
- ④ 好きな有名人
- ⑤ 自分にとって一番の警沢は
- ⑥ 好きな言葉

恵 泉 園

富田 麻友（トミタ マユ） 22



- ① 高崎市
- ② ケアワーカー
- ③ ゲームや漫画鑑賞・水泳
- ④ 志村けん
- ⑤ 趣味に没頭している時間
- ⑥ 人の振り見て我が振り直せ

エンジェルホーム

小野里 光（オノザト ヒカル） 22



- ① 高崎市
- ② ケアワーカー
- ③ 映画鑑賞・ドライブ
- ④ アガサ・クリスティ
- ⑤ 喫茶店でコーヒを飲みながら本を読むこと
- ⑥ 全てはそれだけでいい

島崎 眞采（シマザキ マコト） 22



- ① 太田市
- ② ケアワーカー
- ③ デイズニーに行くこと・ドラマ
- ④ 千鳥・佐藤健
- ⑤ 恋人と一緒に過ごす
- ⑥ 一〇〇点は無理かもしれない。でもMAXなら出せるやる。（松本人志）

新 生 の 園

奥原 智恵（オクバラ チエ） 43



- ① 高崎市
- ② ケアワーカー
- ③ ライプに行く事
- ④ Bz
- ⑤ 美味しいものを食べた時
- ⑥ ありがとう

清水 大輔（シミズ ダイスケ） 22



- ① 高崎市
- ② ケアワーカー
- ③ 筋トレ・野球
- ④ 久保史緒里（乃木坂46）
- ⑤ おいしいご飯を食べていること
- ⑥ やればできる！

榛名憩の園

塚越 依子（ツカゴシ ヨリコ）



- ① 吾妻郡中之条町
- ② 看護師
- ③ 花の鑑賞・陶芸・旅行
- ④ 阿部サダヲ
- ⑤ プリンを二個食べる
- ⑥ 明日は明日の風がふく

渡邊 優（ワタナベ ユウ） 22



- ① 新潟県新潟市
- ② ケアワーカー
- ③ 映画鑑賞・水泳
- ④ 外星人第0号メフイラス
- ⑤ 南国（沖縄等）をぶらぶら散歩すること
- ⑥ 聞くは一時の恥聞かぬは一生の恥

榛名春光園

森川 明子(モリカワ アキコ)



- ① 埼玉県浦和市
- ② ケアワーカー
- ③ 絵画鑑賞
- ④ 高橋源一郎
- ⑤ 休日、ジャズを聴きながら一杯のコーヒーを飲むこと
- ⑥ あなたは、あなたであればいい

誠の園

高橋 瑞季(タカハシ ミズキ) 22



- ① 北群馬郡吉岡町
- ② 管理栄養士
- ③ ドライブ・パレール
- ④ なかやまさんに君・ちゅうえい
- ⑤ 愛猫と昼寝すること
- ⑥ 死ぬこと以外かすり傷

高橋 凜人(タカハシ リント) 22



- ① 岩手県陸前高田市
- ② ケアワーカー
- ③ 野球観戦
- ④ 大谷翔平
- ⑤ お金を気にせずに食べたいものを食べる
- ⑥ 他力本願

松本 洋也(マツモト ヒロヤ) 22



- ① 埼玉県伊奈町
- ② ケアワーカー
- ③ キャンプ・エレキギター
- ④ 広瀬すず
- ⑤ 奢りで飲みに行くこと
- ⑥ 遠慮せず好きなだけ食べたのめ!

二〇二三年度 睦会始動いたします

この三年の間に、人と人との関わり方は大きく変化しました。ソーシャルメディアがあたりまえの世の中となり、昨今では人間関係も距離を感じるようになりました。

リモートなどの便利な手段でのコミュニケーション方法もありますが、『直接会って言葉を交わす、触れ合う』ことに勝るものはありません。

今年度、睦会は始動いたします。睦会の大きな目的の一つに、会員相互の親睦融和がございます。セクションを超えた職員の関わりにより、新学生会体に大きなプラスエネルギーが生まれると確信しています。

役員・幹事一丸となってスタートさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

睦会会長 野澤慶太



睦会役員一同

今回のご紹介は自称「北川景子」こと、原澤樹里さんです。勤続二〇年を迎え、新生の園一筋の大ベテラン。仕事ぶりは正直、真面目。他者を寄せ付けない機転で働く姿勢は後輩の尊敬も集めているとかいえないとか。クールな印象とは裏腹に涙もろ



ケアワーカー 原澤 樹里さん

カップル紹介



新郎 渡邊尚貴さん (旧姓：小山) 美聡さん (榛名春光園) 新婦

もうひとりの私⑫②

安室奈美恵と旅行も大好きで、安室ちゃんのラストライブはマストとチケット争奪戦。沖縄は逃したようだが、北海道へはしっかり観戦ツアー。

毎年、長期休暇を取って海外旅行も恒例。東南アジアに南の島と計画に抜かりはないが、さすがに、コロナ禍になりすっかりご無沙汰。サブチーフの責務で動態と睨めっこの日々、ストレスか年相応か白い物もチラホラ見え出したアラフォー世代。

コロナも落ち着いてきたのでそろそろ旅行にも行けるか独身貴族。タイプは髭ワイルドとのことだが、プライベートは秘密主義。お相手云々はDAIGO O風と言えば「MTI(まじ)、ちよっと、言わない)」であるが、プライベートの更なる充実を図って、今後も仕事にフィードバックいただきたい。

「誕生日誌」

- ・多胡 日陽里 (たご ひより) ちゃん 令和5年2月21日生まれ (恵泉園 ケアワーカー 多胡雄策さん 第2子)



榛名春光園
永井せつ子さん
(九〇歳)



町の親類を頼り疎開された。その後、縁あってご主人と結婚、榛名町に居を定められたが、ご主人が病気になることから、小さな子供を見ながらでも仕事のできる駄菓子店を開業された。

永井さんは地元では「永井のおばちゃん」と親しみを持って呼ばれている。それは、上里見町ですと駄菓子店である永井商店を営まれてこられたからでもある。永井商店は一九六〇年創業。そこは、地域の子供たちの交流の場であり、楽しみの場であり続けたが、二〇一五年に地域の多くの人たちに惜しまれつつ閉店し、五七年間に亘る歴史に幕を下ろした。

名物は大きな鉄板で焼く「焼きそば」であった。永井さんの作られる焼きそばを「今でも時々、無性に食べたくなる」という人は多い。いわば榛名町の「ソウルフード」である。実は以前、榛名春光園で「永井のおばちゃん焼きそば」を再現して、

皆で楽しめればと思い、永井さんと相談したことがあった。しかし、いかに具材を同じものにしても、鉄板と鍋との調理法の違いや、その火力の伝わり方の差などにより、完全なる再現は難しいという結論に至り、断念した経緯がある。

さて、ある時、たまたま榛名春光園へ来ていた榛名町出身の新生の園長の姿を目にされた永井さんは、「あれ？あなた見覚えがある(笑)」と宣われた。園長氏曰く、「子供の頃はお世話になりました(笑)」。そんなやり取りを見ていると、永井のおばちゃんが多くの子供たちと共に過ごした膨大な時間が垣間見えるような気がした。

しかし、地域にとっての一番の損失は、「永井のおばちゃん」と皆に親しまれ、長くは地域の親子三代に亘る子供たちの成長を見守ってくれていた永井さんがお店を閉じられたことである。子供たちの成長へ暖かな眼差しを向けてくれた「永井のおばちゃん」を中心とした、日常の中で子供たちの触れ合う機会や、小さくても社会性が涵養される場が一つ消失したことである。

でも、「永井のおばちゃん」は、今でも「永井のおばちゃん」で、榛名春光園というコミュニティの中で、これまでと同じように日々出逢う他の入居者へ、元気で、暖かく、親身になって接してくれている。



美容室 [bold]二号店 店主
坂田 あきこさん



新生会の清泉棟一階で二〇〇一年から美容室を営む [bold]二号店の坂田あきこさん。

この春、名残惜しくも閉店となりました。新生会の居住者ほか、職員の散髪を担ってきた坂田さんのインタビューに当りユーモアにあふれる人柄に終始笑みが絶えませんでした。

新生会とのつながりは、もとをたどれば、下室田に一九六五年、ご主人は美容室「坂田」、あきこさんは美容室「アカシア」を同時に開業。その頃から、新生会の原正男前理事長が行きつけだったとの事です。後に、ワンフロア合築となりご子息が現在の「bold」を切り盛りするようになりました。縁あって、以前から出店のお呼びがかかっていましたが、二号店がオープンしたのは、奇しくも原前理事長がご逝去された後でした。直接お見せすることはできませんでしたが、きつと喜んでくれただろうなと感慨深く話されています。

仕事をしていて、よく言われたことがあります。「施設刈り」はしな

いでね。前から見ると顔があるからおばあちゃん、後ろから見ると刈り上げちゃうからおじいちゃん。短いカットでもまるやかさを出さなければいけない。それに比べて、今の髪形は自由です。ほら、サイドを刈り上げて：誰でもできるわよ！

この二二年。仕事が好きだから、苦労話は忘れちゃう程あつという間でした。お客様との対話を大切に営んできた坂田さん。「閉店後も這ってでも行くよ」と言っていただけ程コアなファンもいます。来られない方には悪いなど後髪を引かれる思いです。気持ちは全然大丈夫だけれどもね！と。来年金寿になられるそうです。健康の秘訣。言いたいことを言うこと。決して親子で協力してパーマをかけていてもお客さんの頭の上では文句は言わない。いなければ言うけど。これからも原前理事長とのご縁を思いながら下室田の一号店で頑張るから、と。まさにbold(大胆)な方でした。長い間お疲れさまでした。



文芸

梅香ギャラリー

バルナバ館 大山アサ子さん



新生会に入職し、四年が経ちました。看護師経験が浅く不安でしたが、居住者の方々が温かく迎え入れて下さいました。

私は百年に一度と言われた大雪の年に看護師免許を取得しました。



ケアに生きる (148回) 梅香ハイツマリヤ館 看護師 北神 麗良

した。車も動かない中、徒歩で高崎駅まで行き、遅延していた新幹線に飛び乗り東京での受験が出来ました。最初は病院の急性期病棟の勤務でした。患者さんが変わり、業務内容

が変わる毎日でしたが、今は病院とは違い、一人ひとりの居住者の方々と深く関わる事が出来ています。病気の理解はもちろんコミュニケーションを図りながら

日々の健康状態を把握し、時には人生の先輩として沢山の事を学ばせて頂いております。治療目的の病院看護とは違い、居住者の方々がより快適に日常生活を送れるよう日々のサポートを今後も行い、思考停止せず考え続けられる看護職でありたいと思います。これからも寄り添う事を忘れず精進していきたいと思

俳句

咲き初めし白梅隠すや春の雪
咲ききそふ榛名南麓春の花
福田 絃晴

ささやかな暮らし静かに屠蘇食む
元旦の夜の花火に夢託す
三浦 修
新年の努力は宝言い聞かす

短歌

朝まだき月、目の高さなるうめロード
帰りは長い影映す
丸山 輝雄

川柳

散歩道むれて花咲く莖草
のどかに響く山鳩の鳴く声
夜桜の花散る宵に昇りくる
天地を照らす過ぎ越しの月

憩泉

兎年白兎海岸人跳ねる
働らきは人の為にぞ動くこと
詩がないと及がたい人生を送るのみ
オーサム

新生日誌

〈1月〉

- 4日 新年初朝礼
- 11日 お散歩自然観察
- 17日 職員採用試験
- 18日 職員採用試験
- 20日 お散歩自然観察会
- 31日 お散歩自然観察会

〈2月〉

- 8日 職員採用試験
- 9日 お散歩自然観察会
- 16日 ぐんま就活準備オンラインフェア 1名対応
- 17日 HALC自然学校特別企画 講師・NPO法人アグレコ 丹羽牧人氏
- 20日 HALC自然学校特別企画 講師・NPO法人アグレコ 丹羽牧人氏

〈3月〉

- 2日 職員採用試験
- 3日 令和4年度群馬医療福祉大学 事業所セミナー（ビエント高

外へ常態支援

— 新生会後援会便り —

皆様からの温かいご支援に、心より感謝申し上げます。新年度を迎え、心新たに2023年度を歩みはじめました。今後とも、新生会の諸事業に後援会を通して皆様のご協力ご支援をお願い申し上げます。HALCセンター建設のための特別募金累計 16,757,128円（2023年3月末日現在）

新生会後援会加入のご案内

- 個人会員 年間会費 1口 1,000円以上、毎年ご寄付して下さる方。
- 法人会員 年間会費 1口 10,000円以上、毎年ご寄付して下さる方。

募金の結果や使途につきましては小冊子「感謝録」にて毎年報告させていただきます。

寄付方法

郵便局からの振込み 振込口座 00160-6-48594
加入者名 新生会後援会
銀行からの振込み 群馬銀行室田支店普通預金0075469
名義 新生会後援会会長 中澤宏則

所得税等の減免手続きをご希望の方は、ご寄付くださる際にその旨を申し出てください。社会福祉法人新生会より寄付金領収書をお送り致します。

ホームページ <http://www.sinseikai.org/>
E-mail human-office@sinseikai.org

崎 3名参加

4日 上毛新聞社ぐんま就活フェア (Gメッセ群馬 2名参加)

6日 令和4年度ボランティア・市民活動支援センター外部アドバイザー会議（高崎健康福祉大学 1名出席）

8日 お散歩自然観察会

9日 第2回睦会総会

10日 お出かけ自然体験 『箕郷梅林と榛名山南麓の旅』 24参加

16日 公開教養講座 演題：『表と裏』けじめ、素直、甘え、など日本文化を軸にした子育てと教育の柔軟性、多様性と創造性について』 講師：清水秀規先生（北イリノイ大学 准教授）

群馬県若者就職支援センター主催「群馬ではたらく！若者のための合同企業説明会」(Gメッセ群馬 1名参加)

17日 お出かけ自然体験 『箕郷梅林と榛名山南麓の旅』 13名参加

就職説明会 1名参加

22日 春の募参会 42名参加

24日 第3回理事会

28日、30日 新任職員研修会

法人本部 坂本まで (TEL: 027-374-1511)

「美容師出張業務」を行って下さる方を募集いたします

場 所：清泉美容室(当法人内)
営業日：週1回～2回(水・木)

お問い合わせ…
法人本部 坂本まで
(TEL: 027-374-1511)

編集後記

世界的に有名であった日本の偉大な音楽家、坂本龍一さんが三月八日に亡くなった。彼の音楽性は幅広くテクノポップの先駆者であり、俳優としても活躍された。代表作である「戦場のメリークリスマス」では映画音楽にも挑戦し、英国アカデミー賞を受賞されている。そんな活躍の傍らで、環境問題や平和運動への積極的な発言でも知られている。坂本龍一さんは「声を上げる。上げ続ける。あきらめないで、がっかりしない、根気よく。社会を変えたいためには結局、それしかないのだと思います。」という言葉を残された。コロナ禍の生活が始まり四年目を迎える。この期間で私たちは人と人とのつながり、心のつながりの大切さを身をもって体験できた。社会がどうあれ、「支えあい・分かち合い・育みあ」うことで人は幸せになれる。新生会は今年度もそこにこだわり、あきらめずに声を上げ続け、実践を通してそのあり方を社会に示していきたいと強く思います。(若林)

新生 第46巻 春号

発行日 令和五年四月二〇日

編集兼 社会福祉法人新生会

発行人 原慶子

〒370-3347 群馬県高崎市 中室田町五九八三

電話 〇二七三七四 一五一一

表紙の写真
天狗山を背景に「春光園から眺望
松村康さん撮影